

各位

集団食中毒への対応状況に関するお知らせ

SOMPOケアメッセージ株式会社(以下「当社」といいます。)が運営する介護付有料老人ホームの「ウエルピア市川(千葉県市川市所在)」および「グリーン東京(東京都羽村市所在)」において、子会社である株式会社シーケーフーズ(以下「シーケーフーズ」といいます。)が提供した食事が原因で集団食中毒が発生した件につきましては、前回ご報告(9月14日)以降も、継続して二次感染防止に努めるとともに、再発防止の取組みを進めてきました。

二次感染防止対策として、保健所指導のもとでの厨房を含む全館の消毒、厨房内細菌検査を実施のうえ、厨房の消毒を毎日2回継続実施してきました。また、両施設のすべてのご入居者様、職員などに対する病理検査で腸管出血性大腸菌O157(以下、「O157」といいます。)の感染に関して、すべての方が陰性となったことを確認しました。

さらに、最後の発症から1か月間新たに食中毒症状を発症される方がないことなどから、二次感染の恐れはなくなったと判断しました。

以上の状況を踏まえて、10月8日、9日の両日、両施設において、ご入居者様、ご家族様等へ、現状のご報告、食中毒発生の経緯および原因と対策等についての説明会を開催しましたので、ご報告させていただきます。

これまで、原因となった食事を喫食された方のうち、「ウエルピア市川」において5名、「グリーン東京」において1名の方がO157を直接の原因としてお亡くなりになりました。

また、原因となった食事を喫食し、この期間に入院された方で、「ウエルピア市川」において4名、「グリーン東京」において5名の方がお亡くなりになりました。

あらためまして、この度お亡くなりになられたご入居者様のご冥福をお祈りするとともに、ご遺族の皆様へ、心よりお悔み申し上げます。

8月22日の夕食に両施設で提供した「きゅうりの和え物」から、保健所による検査の結果、O157が検出され、これが原因食品と特定されています。

O157は、原因食品以外に厨房および施設からは検出されませんでした。生産地から両施設の厨房に至る流通経路のどこで付着したのかについては、保健所の調査に協力するとともに独自調査も行い究明に全力を尽くしています。

引き続き、経路の究明に努めるとともに、厨房における殺菌対策の徹底および安全・安心な食材の調達に向けて取り組みます。

再発防止の主な取組みとして、今回の事態を踏まえ、より安全な衛生体制を再構築すべく衛生管理マニュアルを見直しました。特に、生野菜の取扱いについては、微生物試験の結果等を踏まえて、野菜の厨房での調理方法を抜本的に見直すとともに、種類に応じて安心・安全なカット野菜の導入を行っていくこととしました。また、衛生管理マニュアルの徹底とあわせて、厨房職員に対する衛生管理教育を継続実施する体制としました。加えて、衛生監査体制を見直し、外部機関による衛生監査を強化しました。

あらためまして、今回の集団食中毒を発生させてしまったことを深くお詫び申し上げます。

弊社およびシーケーフーズは、このたびの事態を厳粛に受け止め、再発防止の取組みを徹底のうえ、今後とも、ご入居様が安心して暮らしていただける環境作りと健康管理を進めてまいります。

2016年10月17日

SOMPOケアメッセージ株式会社
代表取締役社長 菊井 徹也

株式会社シーケーフーズ
代表取締役社長 佐藤 俊雄